

建築物の脱炭素化推進のため、道有施設においても取組を進める。  
省エネルギーや再生可能エネルギーの導入など脱炭素化への統一した考え方を整理。

### ①徹底した省エネルギー化の推進

- ✓ 高断熱化による外皮性能の強化
- ✓ 高効率設備等の導入などにより、エネルギー負荷を低減

### ②自然エネルギーの積極的な活用

- ✓ 太陽光や地中熱など再生可能エネルギーの導入を検討
- ✓ 昼光利用や通風による自然換気など、パッシブデザインの積極的な採用

### ③木材利用の拡大によるCO2吸収源の確保

- ✓ 低層の建築物・住宅は、可能な限り木造化
- ✓ 内外装の木質化を強力に推進



**道有建築物でのZEB化試行とともに  
全庁的な方針を整理**

# 北海道消防学校のZEB化 ～ 道有施設で初めてのZEB実現へ～

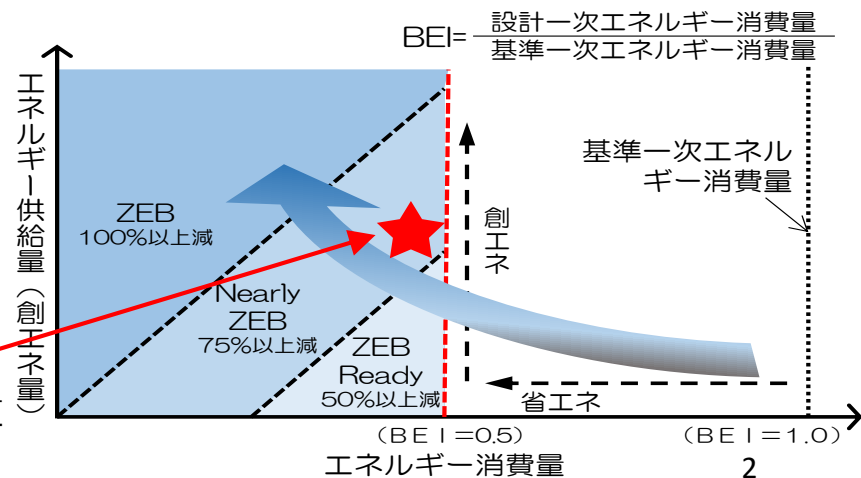


整備地：江別市  
構造規模：RC造 2階建て、延べ約2,600㎡  
事業計画：R2：基本設計、R3:実施設計、R4～6：工事  
\* 新エネ基金を導入し太陽光発電設備を設置

■ **エネルギー消費量**は、基準と比べて  
省エネにより **約 53%削減**  
創エネにより **約 25%削減** を目標 } **Total 78%削減**

■ **Nearly ZEB** の実現を目指す

排出炭素量を **約130 t-CO<sub>2</sub>/年削減** と試算  
\* 現校舎と比べて



道内の建築住宅分野の脱炭素化推進のため、市町村や民間事業者を支援する  
**DO ゼロカーボン建築サポートセンター** を建設部に設置。

## 支援の範囲

(1) 建築物の脱炭素化に関すること	(2) 民間住宅の脱炭素化施策に関すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 建築物のZEB化に係る事業計画(技術・予算)の策定</li> <li>② 国の補助事業に係る最新情報や活用方法</li> <li>③ ZEB化した施設や既存施設のエネルギーの運用改善</li> <li>④ その他施設の脱炭素化に関すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市町村の民間住宅施策・計画にZEHなどの脱炭素化視点の導入</li> <li>② 新築(既存)住宅建設(改修)補助制度への省エネ・再エネ性能基準の導入</li> <li>③ 脱炭素化にも貢献する北方型住宅モデル団地等の計画 等</li> </ul>

## 支援の方法

### (1) 研修会の開催

ZEB等の脱炭素化の技術や補助事業、民間住宅施策等について、研修会を開催します。

- ① 技術情報の紹介
- ② 補助事業の紹介
- ③ 事例の紹介
- ④ 完成施設の見学

+

### (2) 相談窓口の開設

相談窓口を開設し、ZEB等の脱炭素化の技術や予算の確保、民間住宅施策に関する相談に対応します。

- ① 事業計画関連
- ② 補助事業関連
- ③ 技術関連
- ④ 住宅建設支援

+

### (3) 専門技術者の派遣

市町村に専門技術者を派遣し、現地において技術支援します。(期間:1~2日)

- ① 事業計画担当者(道職員)
- ② 補助事業担当者(道職員)
- ③ 専門技術者(北総研職員等)
- ④ 民間住宅支援担当者(道職員)

## 相談窓口

建設部建築局  
 建築整備課  
 主査(ゼロカーボン)

電話:011-204-5326  
 e-mail:  
 kensetsu.kenchiku1@  
 pref.hokkaido.lg.jp

## 更なる支援

具体的な検討や事業の実施の際には、北方建築総合研究所の受託業務、(一財)北海道建設技術センターのCM業務により、調査、分析、資料収集、資料作成などを支援します。(有料となる場合があります。)

※CM:コンストラクションマネジメント(市町村に限る。)